

# 経済日誌 2010年10月

注)1DH(ディルハム)=約10円

## I. モロッコ国内経済

### 1. 指標等

#### ①2010年1月～9月までの貿易収支<sup>1</sup>

輸入額は前年同期13.4%の増加、輸出額は22.9%の増加。貿易収支はやや悪化しているものの、カバー率(輸出額/輸入額)は前年同期の43.8%から47.4%へ増加して、輸入超過傾向はやや緩和された。

	2009年1月～9月	2010年1月～9月	推移
輸入額	194,827	220,838	13.4%
輸出額	85,270	104,756	22.9%
貿易収支	-109,557	-116,081	-6.0%
カバー率 (輸出額/輸入額)	43.8%	47.4%	

(単位:100万DH)

(ア)輸入:原油の輸入額が大幅増加。

	2009年1月～9月	2010年1月～9月	推移
原油	11,036	18,524	67.8%
原油以外全体	183,790	202,313	10.1%
- 食料品・飲料・たばこ	18,660	20,263	8.6%
- エネルギー・燃料	38,845	52,616	35.4%
- 農業設備機械類	2,533	1,662	-34.4%
- 工業設備機械類	46,901	49,305	5.1%
- 消費財	39,161	41,049	4.8%

(イ)輸出:燐鉱石・燐酸関連輸出と燐鉱石以外の輸出額とも増加。

	2009年1月～9月	2010年1月～9月	推移
燐鉱石及びその派生品	14,151	25,673	81.4%
- 燐鉱石	3,593	6,356	74.1%
- リン酸	6,041	10,112	67.4%
- 肥料	4,515	9,304	106.0%

<sup>1</sup> モロッコ為替局ホームページ、www.oc.gov.ma

磷鉱石以外	71, 119	79, 082	11. 2%
- 食料品・飲料・たばこ	18, 025	17, 161	-4. 8%
- 設備・機械類	12, 329	15, 519	25. 9%
- 消費財	39. 836	38, 886	-2. 0%

(単位:100万DH)

## ②2011年予算法案の概要<sup>2</sup>

### ●予算編成

2011年予算案は、次の3つの軸を基本に作成:(1)持続的発展の強化と分野別改革の拡大、(2)国民の公共サービスへのアクセス拡大、(3)公共サービスの改善とマクロ経済の安定化。また前提として、原油価格:75ドル/バレル、液化ガス:600ドル/トン、経済成長率5%、財政赤字対GDP比 3. 5%、インフレ率:2%、1ドル8. 5DHを想定。

- ▶ 一般会計歳入は2809億DHでそのうち税収は1597億DHの見込み。
- ▶ 一般会計歳出は2930億DHで、そのうち**公共投資予算は1663億DHにのぼる見込み**。高速道路(65億DH)、港湾(39億DH)、鉄道(71億DH)の整備をはじめとしたインフラ整備に充当。
- ▶ また、1663億DHのうち国営企業に充当されるのは1076億DHと公共事業の柱となっている。最も多いのがモロッコ磷鉱石公社(OCP)で152億DH。ついでモロッコ預託管理庫(CDG)130億DH、Al Omrane 住宅公社103億DH、モロッコ電力公社(ONE)74億DH、モロッコ鉄道公社(ONCF)71億DH、モロッコ水道公社(ONEP)45億DHなどとなっている。

セクター別で見ると、教育が最も多く480億DH、ついで農村山間部開発に200億DH、保健が110億DH、エネルギーに78億DH、給水・浄水インフラに70億DH、農業が67億DH、運輸に30億DHとなっている。

その他は住居に31億DH、人間開発に係るイニシアティブ(INDH)に25億DH、環境に8億DH、漁業・水産分野に6億DH、産業・商業・新技術に6. 67億DH、観光に3. 96億DH、手工芸に3億DH、青少年とスポーツに 14億DH、文化に5. 14億DH、社会・家族・連帯(児童労働、社会的弱者対象)に5. 85億DH。

穀物、砂糖、原油等の価格維持に充当される**補助金は170億DH**(2010年は140億DH)。

18, 682名の**公務員**の新規雇用を見込んでいる。(教育省:6, 340名、内務省:6, 000名、保健省:2, 000名、司法省:1, 000名、国防庁:1, 000名等)

### ●税制改正

(1)小規模企業(年間売上高300万DH以下)の法人税率15%の適用。ただし、同優遇措置を受けた会社は年間1人以上の新規雇用を3年間保証する。

<sup>2</sup> 経済・財政省ホームページ(www.finances.gov.ma)、Projet de loi de Finances pour l'année budgétaire 2011、LaVie Eco(10月15日)、エコノマップ(10月13日、22日)、エコノミスト(10月13日、11月11日)

- (2) カサブランカのAnfa空港跡地に建設予定「CFC:カサブランカ・ファイナンスシティー」へ進出する輸出サービス企業は法人税を5年間免除、その後は8.75%の法人税を適用。また、同企業におけるモロッコ滞在期間6ヶ月未満の短期海外駐在員の所得税は一律20%の税率を適用。
- (3) 預金の流動性を高めるため、株式貯蓄プラン(PEA:Plan d'Epargne en actions)による収益及びキャピタルゲインに対する課税を撤廃(現在、利子に対しては10%、株式取引による利益に対しては15%が課税されている。また、本条件が適用されるための最低保有期間は5年、上限60万DH)、住宅取得用預金と教育用預金の利子に対する課税撤廃(いずれも上限30万DH)。
- (4) 非登録企業対策に、2年間の時限で、登録前の収益や営業に係る課税の遡及免除など。
- (5) 海外からの株式投資等による利益の税率を30%から15%へ引き下げ。
- (6) 観光分野の不動産開発会社に対しては5年間法人税免除。その後は税率17.5%が適用。
- (7) ハイブリッド車輸入関税が2.5%へ。

## 2. 建設・公共事業・インフラ等

### ① Berrechidのニュータウン建設<sup>3</sup>

Berrechidに「Omrane Sahel Lakhayta」と称したニュータウンが建設される。カサブランカから約20kmで56000戸、26万人の住民を見込んでいる。面積は1400ha、総工費は350億DH。同様のニュータウンにはラバトのTemsna、マラケッシュのTamensourt、タンジェのChrafatなどがありこれで4カ所目となる。

## 3. 農業・漁業

### ① 羊犠牲祭用の羊を確保<sup>4</sup>

モロッコ農業漁業省は羊犠牲祭用の羊760万頭を確保していると発表。77億DHの売上高に相当すると予測。

### ② 農産品の輸入価格上昇<sup>5</sup>

小麦を初めとした農産品の輸入価格が上昇しており、特に6月から9月にかけて急上昇。

	9月1日相場	価格上昇率	輸入量	平均輸入価格
	/トン	(1月からの)%	百万トン	/トン
軟質小麦	208 ユーロ	59	2.4	204 ユーロ
トウモロコシ	197 ユーロ	46	1.7	150 ユーロ
砂糖	617 ドル	31	0.9758	428 ドル

<sup>3</sup> エコノミスト(10月14日)

<sup>4</sup> エコノマップ(11月1日)

<sup>5</sup> La Vie Eco(10月21日)

コーヒー	1736 ドル	34	0.0385	1958 ドル
------	---------	----	--------	---------

#### 4. 産業・エネルギー

##### ①ワルザザート太陽エネルギー発電計画の一次選考が開始<sup>6</sup>

4日、ワルザザート太陽エネルギー発電計画へ参画する企業19社の一次選考が開始された。そのうち日系企業は三菱商事、三井物産、丸紅、日揮の4社。結果は11月17日までに発表の予定。

##### ②太陽エネルギー発電計画に関する二つの協定<sup>7</sup>

8日、モハメッド6世国王はラバトにおいて首相、ベンハドラ・エネルギー・水利・環境大臣、メズアー経済・財政大臣、バクリMASEN長官、ファン・フィフリONE総裁、ズリカ・ナスリ国王参事が出席し、関係者協議を開催。太陽エネルギー発電の進捗状況について諮問を行った。

その後、26日、モロッコ政府は、モハメッド6世国王御臨席の下、ワルザザード市の太陽エネルギー発電所建設予定地において、当国太陽エネルギー発電統合プロジェクトの推進に向けた枠組みについて、2つの協定への署名を含む式典を開催。

ベンハドラ・エネルギー・鉱山・水利・環境大臣は計画を発表以来、法制面、規定面、組織面において必要な措置を講じてきたと言及。

バクリ モロッコ太陽エネルギー発電庁(MASEN)長官は、ワルザザードにおけるプロジェクトについては、200社あまりが関心表明を行い、企業の一次選考に19グループが参加し、今年末までには入札公示を行う予定であると言及。

プロジェクト推進に向けた枠組みについて、以下の2つの協定への署名が行われた。

###### i) モロッコ政府－MASEN間の協定

エル・ファン首相(モロッコ政府代表)とバクリ長官(MASEN代表)によって署名。土地の取得、太陽エネルギープロジェクト開発、ファイナンス面などにおいて、政府全体として本プロジェクトの推進をサポートする点を明確にするもの。

###### ii) モロッコ政府－電力公社(ONE)－MASEN間の協定

メズアー経済・財政大臣、ベンハドラ・エネルギー・鉱山・水利・環境大臣(モロッコ政府代表)、ファン・フィフリ総裁(ONE代表)、バクリ長官(MASEN代表)の四者によって署名。太陽エネルギー発電所建設に当たって、発電所の機能、国内外グリッドへの接続、発電したエネルギーの商業化などについて規定するもの。

##### ③電力消費者の内訳<sup>8</sup>

産業(32%)、住居(29%)、運輸(24%)、サービス(7%)、農業(6%)、その他(2%)

<sup>6</sup> エコノミスト(10月4日)、MASEN発表

<sup>7</sup> ル・マダン(10月11日)、エコノミスト(10月27日)

<sup>8</sup> エコノミスト(10月7日)

#### ④Taza風力発電所建設計画についての関心表明受付開始<sup>9</sup>

Tanger 2(150MW)、Tetouan(300MW)、Taza(150MW)、Laayoune(300MW)、Boujdour(100MW)の5カ所の風力発電建設のうち、いち早くTaza 風力発電所建設計画についての関心表明の受付が開始された。応札権を獲得した企業の発表は2011年6月頃になる予定。

現在の風力発電は Abdelkhalek Torrès(50MW)、Lafarge の(30MW)、エッサウイラの Amogdoul(60MW)、Tanger1(140MW)の 280MW。

#### ⑤2010年1～9月までの自動車車種別販売台数<sup>10</sup>

2010年1月から9月までの自動車販売台数は69,496台。前年同期比で1.8%の減少。

そのうち完成輸入車は46,570台、ノックダウン組立車は22,926台。

	車種	メーカー	台数		車種	メーカー	台数
1	Logan	ダチア	8198	19	Golf VI	フォルクスワーゲン	756
2	Kangoo	ルノー	7740	20	Fluence	ルノー	703
3	Sandero	ダチア	5123	21	Touareg	フォルクスワーゲン	670
4	Partner	プジョー	3001	<b>22</b>	<b>Corolla</b>	<b>トヨタ</b>	<b>632</b>
5	Picanto	起亜	2789	23	Santa Fe	現代	604
6	Berlingo	シトロエン	2460	24	Duster	ダチア	584
7	110	現代	1622	25	C5	シトロエン	583
8	Fiesta	フォード	1550	26	Astra	オペル	552
9	206	プジョー	1473	27	Insigna	オペル	507
10	Polo	フォルクスワーゲン	1264	<b>28</b>	<b>Pajero</b>	<b>三菱</b>	<b>495</b>
11	Punto	フィアット	1254	29	Clio	ルノー	487
12	Focus	フォード	1119	<b>30</b>	<b>Rav-4</b>	<b>トヨタ</b>	<b>486</b>
13	208	プジョー	1051	<b>31</b>	<b>Alto</b>	<b>スズキ</b>	<b>461</b>
14	207	プジョー	1001	32	Tiguan	フォルクスワーゲン	436
15	Symbol	ルノー	879	33	Fusion	フォード	430
16	Passat	フォルクスワーゲン	830	<b>34</b>	<b>CRV</b>	<b>ホンダ</b>	<b>412</b>
17	Accent	現代	819	35	CLE	メルセデス	403
<b>18</b>	<b>Celerio</b>	<b>スズキ</b>	<b>791</b>				

#### ⑥5年以上の中古車は輸入禁止<sup>11</sup>

新道路交通法の施行に伴い、2011年1月1日から5年以上のバイク、自家用車、バスまですべての中古車輸入が禁止されることとなった。モロッコ自動車連盟ベラルビ会長は「5年以上の車は何かしら故障の兆候が見られる。また、5年前の中古車となると環境基準に合わない車種の可能性も高くなる。」と言及。2009年は約5万台の中古車が輸入され、そのうちの大半は8～10年の中古車だった。

<sup>9</sup> エコノミスト(10月26日)

<sup>10</sup> La Vie Eco(10月15日)

<sup>11</sup> エコノミスト(10月18日)

## ⑦ワルザザート地方のTiouineダム建設の開始<sup>12</sup>

ワルザザート地方の飲料水、農業水用に貯水キャパシティ2億7千万m<sup>3</sup>のTiouineダムを建設する。工期は40ヶ月。総工費は6億DH。

同ダムを水源とした浄水場も建設され、一秒間で300リットルの放水が可能となり、40kmの水路も設置される。2015年から稼働開始予定。ワルザザート、Taznakhte, Skoura, Tarmighteの住民14万人の社会経済開発に繋げる。

## 5. その他

### ①Transparency Internationalの汚職・腐敗度ランキング<sup>13</sup>

モロッコは178カ国中85位。腐敗認識指数は10点中3.4。指数が低いほど公共部門などで腐敗が蔓延しているとされる。ここ数年の結果を見てもあまり改善はされていない。

	2007	2008	2009	2010
腐敗認識指数	3.5	3.5	3.3	3.4
順位	72	80	89	85

### ②モロッコ人の平均寿命と高齢者人口<sup>14</sup>

モロッコ高等計画委員会(統計局)はモロッコ人の平均寿命と高齢者人口の割合などを発表した。現在のモロッコ人平均寿命は73.1歳。60年代初頭は62歳だった。

60歳以上の人口は増加傾向にある。増加ペースは60年代初頭から2010年まで年間で平均2.3%ずつ上昇していたが、2010年から2030年の間になると3.5%のペースで上昇する見込みである。2010年の60歳以上人口は240万人(人口比8.1%)。2030年には580万人(人口比15.4%)になると予測。

### ③2010年夏休みの在外モロッコ人の帰省客数<sup>15</sup>

帰省客の受け入れ体制「Marhaba2010:(6月5日から9月15日まで)」期間中の在外モロッコ人帰省客数は2,120,934人と200万人を超えた。在外モロッコ人全体の44%に相当。

前年比で3.94%の増加。

<sup>12</sup> ル・マタン(10月29日)

<sup>13</sup> エコノミスト(10月27日)、トランスパレンシー・インターナショナルホームページ [www.transparency.org](http://www.transparency.org), Corruption Perceptions Index 2010

<sup>14</sup> モロッコ高等計画委員会(10月1日)、エコノマップ(10月4日)

<sup>15</sup> エコノマップ(10月8日)、ル・マタン(10月8日)

## II. 諸外国等との関係

### 1. 外国政府との関係

#### ①モロッコ-EFTA間の貿易自由化協定に関する合同委員会<sup>16</sup>

スイス・アイルランド・リヒテンシュタイン・ノルウェーの4カ国からなるヨーロッパ貿易自由貿易連合(EFTA)は、モロッコとの間でFTA協定を締結済み。1997年に合意し、1999年以来施行されている。4日、5日ラバトで第5回FTA合同委員会が開催され、貿易の多様化で一致した。

#### ②上海万博にてモロッコデー開催<sup>17</sup>

5月1日から10月31日まで開催された中国2010年上海万博にて、ラディ衆院議長、ファン・フィフリ外務・協力大臣、ゼナギ観光・工芸大臣、上海市人民代表大会常務委員会 劉雲耕(Liu Yungeng)主任の出席のもとモロッコデーが9月30日に開催された。総面積4000平方メートルのモロッコ館はアフリカからの出展としては唯一の独自建設館であり、面積もアフリカの国としては最大。地元のメディアは「千夜一夜宮殿」と称し来客の人気を集め、出展した256のパビリオン中、イギリスの金メダル、スウェーデンの銀メダルに続き、モロッコ館は銅メダルを受賞した。今回の万博の累計入場者数は7300万人を超え、万博史上最多を記録した。

### 2. 外国企業との関係

#### ①モロッコ電力公社(ONE)とフランスRTEの間で協力協定<sup>18</sup>

9月29日、モロッコ電力公社(ONE)とフランスの送電系統管理機関(RTE:Réseaux de Transport d'Electricité)とは、送電網開発分野で協力することに合意。送電管理、メンテナンス方法、国際送電網への再生可能エネルギーの組み込みなどの分野で協力する。

また、ONEのAli Fassi Fihri 総裁は「トランスグリーン計画」への参加書に署名。

#### ②仏系Solairedirect社がカサブランカに子会社を設立<sup>19</sup>

太陽光発電ではフランスで第2位の規模を誇る Solairedirect 社がカサブランカに子会社を設立する。同社は Schneider Electric 社とのコンソーシアムでモロッコの太陽エネルギー発電プロジェクトに関心表明を提出している。フランス以外の国での開業は、南アフリカ、インドに続きモロッコは3カ国目。

<sup>16</sup> モロッコ貿易・商業・新工業省ホームページ、エコノミスト(10月5日)、エコノマップ(10月6日)

<sup>17</sup> エコノマップ(11月1日2日)

<sup>18</sup> オジヨドゥイール・マロック(10月3日)

<sup>19</sup> エコノミスト(10月7日)

### ③米国Mentor Graphics社がモロッコに進出<sup>20</sup>

電子機器の設計販売、ソフトウェアサポートなどを手がける同社は、ラバトのテクノポリスに2年間で5800万DHを投資。10人のエンジニア専門家でスタートする。中東にはエジプトに進出しており、エジプトを補強する形となる。

### ④ケニトラ・タンジール間高速鉄道敷設工事のためEgis グループがケニトラに支社を開設<sup>21</sup>

フランスのインフラシステムグループ Egis はすでにラバトとカサブランカに支店を構えていたが、今回ケニトラ・タンジール間のうち87キロの区間における鉄道工事のため、新たにラバトに支店を9月30日に新設。モロッコ Ingema 社と共同で、モロッコ国鉄(ONCF)の高速鉄道(LGV=Ligne à grande vitesse)計画に参画する。

### ⑤タンジールに次々とホテル建設<sup>22</sup>

タンジール オフショア ゾーンにラマダホテルが建築される。投資額は1億400万 DH、部屋数195室、従業員200名の予定。また、タンジールで2件目のフランスの Accor グループのイビスホテル(Ibis Hôtel)が、鉄道駅周辺に立地することが特徴のこのチェーンの他のホテルと同様タンジール駅の近くに今年中に建設される。

### ⑥ルーブル・ホテルズ・グループ 20軒のホテル建設計画<sup>23</sup>

18日、ルーブル・ホテルズ・ゴールデン・チューリップ グループ(groupe Louvre Hôtels-Golden Tulip)は、モロッコに5年計画で20軒前後のホテルを建設予定であることを発表。当グループは2006年以降カサブランカ、マラケッシュ、ラバト、サフィ、ホリブガに4星から5星のホテルを5軒所持しており、今後はタンジール、フェズ等大都市のみならずエル・ジャディダ、メクネス、モハメディア、ウジダといった中都市もホテル建設予定地となる模様。

### ⑦スズキマロック(SUZUKI MAROC)がカサブランカに第2のショールームを新設<sup>24</sup>

総面積1600平方メートルのこの店舗は、2010年度にウジダ、エル・ジャジダ、モハメディア、ケニトラ、テトアンに新設されたものに続き6件目。キオト(Kiauto)と名づけられた。

## 3. 経済協力

### ①モロッコ ケートとの協力関係を強化<sup>25</sup>

<sup>20</sup> エコノミスト(10月1日)

<sup>21</sup> ル・マタン(10月5日)

<sup>22</sup> エコノミスト(10月14日)

<sup>23</sup> エコノマップ(10月20日)

<sup>24</sup> ル・マタン(10月27日)

<sup>25</sup> エコノマップ(10月15日)エコノミスト(10月18日)

14日、モハメド6世国王、ムーライ・ラシッド王子、アル・サバーハクウェート首長の立会いのもと、ラバト王宮にて両国間協力に関する下記4協定の調印式典が行われた。今回の援助はアラブ経済開発クウェイト基金によるもので、同基金からの援助累計は12億USドルに上る。

- 1) 高速鉄道(TGV)のための援助 11億4000万DH
- 2) 警備関係協力
- 3) モロッコ南方の送電網整備に対する援助 5億7000万DH
- 4) 産業関係協定

クウェートはモロッコでの高速道路、港、電気、TGV、ダム等の開発計画上、重要なパートナーであり、これまでの投資総額は約80億DHにのぼる。

### ②ベルギーよりモロッコへ400万ユーロの無償援助<sup>26</sup>

EU共同体による「INDH(人間開発に係る国家イニシアティブ)」支援のための援助額6400万ユーロの一部。

### ③JICA 公共病院管理を支援<sup>27</sup>

モロッコ、ベナン、ブルキナファソ、コンゴ、マリ、ニジェール、ブルンディの7カ国のアフリカ諸国を対象にJICAが行っている通称「きれいな病院プロジェクト」は、アジア・アフリカ知識共創プログラム(Asia Africa Knowledge Co-creation Program)の一環で、病院管理システムの向上を目指す。日本型の経営手法5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)も導入し、モロッコではサレ県立病院がパイロット病院に指定され2009年より研修、セミナー等の活動が行われている。当プロジェクトの活動結果報告のための最終セミナーがラバトにて10月25日から29日まで開催された。

## 4. その他

### ①マラケシュにて世界経済フォーラム中東・北アフリカ会議開催<sup>28</sup>

26日から28日まで開かれたこの会議には、62カ国から政府関係者、大企業のトップら総勢1000名以上が参加、「分別、安定、繁栄」をテーマに、世界金融危機の中、資源が豊富であるが、インフラ体制の欠如するこの地域の成長、発展戦略について協議された。

<sup>26</sup> エコノマップ(10月20日)

<sup>27</sup> ル・マタン(10月27日)

<sup>28</sup> エコノミスト(10月27日28日)